



2024. 12. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2113

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## 【山口県立山口図書館から臨時閉館のお知らせ】

山口県立山口図書館は、設備改修工事のため、令和6年12月2日（月）～令和7年3月31日（月）の期間、臨時閉館いたします。

## 《臨時閉館中のサービスについて》

○臨時閉館中は、インターネット・電話を使って予約申込をされた本を、県立図書館の「臨時窓口」で受け取って借りることができます。※詳しい内容は、こちらをご覧ください。→→→

○e-netを使った、県内公共図書館での受取は、これまでと同様ご利用いただけます。

◎お問合せ先・連絡先：山口県立山口図書館総合サービスグループ

（電話：083-924-2114 FAX:083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



## 《学校等への団体貸出について》

○臨時閉館中も、メールやFAXでお申し込みの上、団体貸出をご利用いただけます。

館内での閲覧や選書はできません。貸出・返却は1階事務室となります。

※詳しい内容は、こちらをご覧ください。→→→

◎問い合わせ・連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2113 FAX:083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



## 【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（原則：毎月第一火曜日、令和6年12月から令和7年3月まではお休み）

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

## &lt;絵本—乳幼児から&gt;

『ミケみつけ!』 北村人/作・絵 ひさかたチャイルド 2024.11 ¥1100

ねこのミケはおでかけするみたい。あれ?みえなくなるとおもったら、くつのうしろにいたんだね。ミケ、みつけ!かくれんぼがじょうずなミケは、うえきばちのおはなになりきったり、ボールといっしょにまるくなったり、ほかのねこちゃんたちにまぎれたり。ぜんぶみつけて「ミケ、みつけ!」できるかな?語呂のよい合言葉で語りかける、猫らしいしぐさを活かした絵探し絵本。

## &lt;絵本—3, 4歳から&gt;

『おせち』 内田有美/文・絵 満留邦子/料理 三浦康子/監修 福音館書店 2024.11 ¥1000

あたらしいとしをいわうおせちりょうりには、ひとつひとつに、みんなのねがいがこめられている。たとえばくろまめは「まめまめしくくらすように」、たづくりは「おこめがたくさんみのりますように」。おじゅうにつめたらできあがり。ことしもよいとしになりますように。伝統的な食文化としてのおせち料理を、写真をもとに描いた美しい絵とリズムカルな文章で味わう絵本。

## &lt;絵本—5, 6歳から&gt;

『がいとうのひっこし』 山田彩央里/ぶん 山田和明/え イマジネーション・プラス 2024.10 ¥1700

がいとうはみちにたち、いつもひとびとにあいさつしていた。あるひ、あたらしくおきながいとうがたったので、あかりのたりないところにひっこすことにしたが、どこにいてもよるこばれない。やがてさびれたひろばにたどりつき、ベンチのそばにたっていると、おちこんだようすのcockさんがやってきて…。優しさが心を照らす絵本。作者(文)の出版デビュー作。

## &lt;絵本—小学校低学年から&gt;

『はじめてのクリスマス』 マック・バーネット/文 シドニー・スミス/絵 なかがわちひろ/訳 偕成社 2024.10 ¥1600

むかし、サンタのクリスマスは、いちねんごのクリスマスイブにくばるおもちゃをつくりはじめるだけのさびしいものだった。サンタのおてつだいをしているエルフたちは、しろくまにいわれてそのことにきつき、「なにかとくべつですてきなこと」をやろうとそうだんする。サンタのすごすはじめてのクリスマスは、どんないちにちになるだろうか?クリスマスのあとに読みたい絵本。

## &lt;絵本—小学校中学年から&gt;

『ホシムドリがうたう歌』 オクタヴィー・ウォルターズ/作 塩崎香織/訳 アチェロ 2024.10 ¥2200

ホシムクドリは歌をうたおうとおもった。空からみえる、すてきなものについての歌を。ほかのとりたちにはなしてみると、みんなもそれぞれにしているすてきなものをおしえてくれた。ホシムクドリは、それらのこともわずれずにうたうのだった。モノクロに近い画面に美しい情景が浮かぶ、作家・版画家・イラストレーターである作者の初の絵本。2022年「銀の石筆賞」受賞。

### <読み物ー小学校低学年から>

『ひらがな名作 一生役立つ『自信』が身につく!』 齋藤孝/監修 日本図書センター 2024.10 ¥1600

ひらがなに興味を持ち始めた子どもが自分一人で物語を読み切るという成功体験を通じて自信が得られるように作られた名作集。文字の表記やフォント、分かち書き等の「自信が育つひとり読みの工夫」で構成した、日本や世界の昔話や童話、神話、詩など25の作品を収録。子どもの自信を育てる大人の関わり方も紹介あり。絵本から文字の多い本を読み始める時期にふさわしい1冊。

### <読み物ー小学校中学年から>

『参上!ヌンチャクゴリラ』 川之上英子・健/作 朝倉世界一/絵 岩崎書店 2024.10 ¥1400

5年生のようじろうは警察官の父と保育士の母との3人暮らし。道を尋ねてきた男の人からもらったバナナを食べた父は興奮するとゴリラに変身し…。宇宙研究所の宇宙じいさんもかわり、ようじろう達は宇宙人によるニンゲンゴリラ化計画を阻止しようと奮闘する。笑いあり、ダジャレありのナンセンスSF童話。作者は夫婦で作品を作る絵本・児童文学作家。健氏は税理士でもある。

### <読み物ー小学校高学年から>

『森に帰らなかったカラス』 ジーン・ウィリス/作 山崎美紀/訳 しらこ/画 徳間書店 2024.10 ¥1600

第2次世界大戦後のロンドン郊外に住む動物好きの11歳の少年ミック。ある時公園でカラスの雛を見つけ育てることに。雛はジャックと名付けられ、地域の人たちの人気者になるが…。主人公は実在するロンドン動物園の元飼育員がモデル。少年と動物達とのふれあいや戦後を生き抜く人々の実話をもとに描かれる物語。巻末には物語に登場する新聞記事やジャックの写真の掲載あり。

### <読み物ー中学生から>

『森と、母と、わたしの一週間』 八束澄子/著 ポプラ社 2024.10 ¥1400

野々歩は、中2の女子。春休みに祖母が亡くなり、母は実家の片付けに帰ったまま。友だちとも折り合いが悪く、父ともコミュニケーションがうまく取れない野々歩は、夏休み明けのある朝、衝動的に祖母の家がある鳥取県の智頭へ向かう鉄道に乗り込む。久々に会う母は「森のようちえんコロボックル」のボランティアをしており…。閉塞感から抜け出そうともがく母子の成長物語。

### <ノンフィクションー小学校低学年から>

『しごとってなんだろう』 細川昭々/作・絵 講談社 2024.11 ¥1800

日曜日に遊園地に行く約束をしていたのに、パパに急な仕事が入って行けなくなったちいちゃん。仕事ってそんなにえらいの?つよいの?仕事とは何なのか、働くことの意義について、かわいいイラスト、分かりやすい言葉、親しみやすい文字で描かれる。世の中の仕事が自分にどのように関わっているか、自分にはどんな仕事が適しているかについて親子で考えるきっかけとなる絵本。

### <ノンフィクションー小学校中学年から>

『水の一生図鑑』 林良博/監修 片神貴子/訳 誠文堂新光社 2024.11 ¥2700

生き物を育み、地球を形作っている水について、豊富な写真や美しいイラストで紹介する。地球をめぐる水の循環、生き物が水を取り込み生存する様子、水に住む生き物の実態、生活の中での水の使われ方等、4つの章で構成。自然科学など理科学的な知識やSDGsに関連した社会的な思考の解説で教科横断的に学べる1冊。原タイトルは『Water cycles』、巻末に索引あり。

### <ノンフィクションー小学校高学年から>

『いますぐ知りたい会社づくりのしくみ』 澤田聖士・大町侑平/監修 マイクロマガジン社 2024.11 ¥1500

会社を作り、責任者(社長)になることは子どもでもできる。社長になるために必要なスキルや能力、「起業家精神(アントレプレナーシップ)」についてイラストやグラフを交えてわかりやすく説明する。自分を売り込む方法や自分の時間をコントロールする考え方、良いチームを作るためにできることなどについても掲載され、普段の生活の中でも役立つ1冊。

### <ノンフィクションー中学生から>

『クマはなぜ人里に出てきたのか』 永幡嘉之/文・写真 旬報社 2024.10 ¥1700

クマの大量出没と人身事故のニュースを聞くことが昨今増えている。本書は、山形県を拠点に動植物の調査・撮影をしている自然写真家が、ツキノワグマの周辺で何が起きているか、秋田県と近隣の県での調査結果をもとに、背景を考察。クマと人間の関係改善のためには、ツキノワグマの駆除だけでなく、環境保全が必要なことも提示している。著者撮影の写真を多数収録。

### <研究書>

『椋鳩十と戦争 生命の尊さを動物の物語に』 多胡吉郎/著 書肆侃侃房 2024.9 ¥2000

小学校高学年の国語の教材として今なお読み継がれる『大造じいさんとガン』をはじめ、数多くの動物物語を残した児童文学作家、椋鳩十。動物を通して生命の尊さを描いた作品は戦時下には不要とされるなど、高校の国語教師をしながら執筆を続ける中で経験した苦渋の日々が、戦後の作品に投影されている。戦争を描かず、愛とやさしさに満ちた物語世界を、年代順に解説した1冊。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

